

天皇杯受賞をお祝いして

第57回農林水産祭天皇杯受賞記念祝賀会

佐藤忠美氏 第57回農林水産祭 天皇杯受賞記念祝賀会

水稲直播を中心とした効率的農業の取り組みが評価され、本町初の「天皇杯」を受賞された佐藤忠美さん。この栄えある受賞をお祝いしようと、2月8日JA北いぶき妹背牛支所に町内外の農業関係者が集い、受賞祝賀会が開催されました。



娘さんたちからお祝いの花束を受ける佐藤さんご夫妻

と共に土作りや水管理などについて試行錯誤を重ねた結果、10aあたりの収量は北海道の平均を上回る690kgを実現。さらに生産費も2割削減するなど、本町稲作農業の進展において確実な成果を上げてきました。こうした取り組みが認められ、昨年は第47回日本農業賞個人経営の部で大賞に輝き、さらに栄えある「天皇杯」の受賞となったものです。1月18日には皇居で天皇皇后両陛下に拝謁し、永年にわたる農業への取り組みに対し激励の



明治神宮会館でおこなわれた第57回農林水産祭天皇杯授賞式

佐藤忠美さんは、33歳の頃に農協青年部ヨーロッパ研修の一員として参加。イタリアで直播による大規模農業の実態を目の当たりにして大きな衝撃を受けました。帰国後、直播栽培に関する技術研究に取り組み、やがて同じ志を持つ農家と共に「妹背牛町水稲直播研究会」を立ち上げました。当初、直播栽培は省力化・効率化につながる反面、収穫量が少ないという問題がありました。佐藤さんは仲間

お言葉をいただきました。祝賀会には、田中町長、空知総合振興局長、JA北海道中央会岩見沢支所長からの祝辞において、佐藤さんの先進的な農業への取り組みに対し称賛の言葉が述べられ、大勢の出席者と共に晴れの受賞をお祝いしました。謝辞に立たれた佐藤さんは、多くの仲間たちと苦労しながら新たな農業に取り組んできた歩みを振り返り、「北海道150年の節目となる年に受賞できたことは感慨深く、これは北海道農業全体の荣誉です」と、感謝の言葉を述べました。

新任 ALT「カート先生」

妹背牛町に新しくALT（外国語指導助手）が着任されました。名前はカーテス・アレクサンダーニコラスさん。アメリカ ニュージャージー州のポイント プレザント ビーチという海沿いに広がる小さな町の出身です。「妹背牛町の子どもは、とてもかわいいです。一緒に学ぶことにわくわくしています」と話してくれました。



た。妹背牛町には、雪が降り積もった12月にやってきたカート先生。春になって雪が解けたら、農場などの様々な景色を見ることを楽しみにしています。

「町民の方々とも早く仲良くなりたいです。町で見かけたら気軽に「カート！」と声をかけてくださいね。」と話していました。